

## 新たな広報・広聴手法に関する実証実験を実施します

中原区では、区民との協働によるまちづくりを進めるため、コミュニティ支援の取組を進めています。この度、令和 3・4 年度実施の地域デザイン会議での検討を踏まえ、日頃、地域との関わりが薄い住民の声を聴き、行政情報や地域情報を伝えるための新たな広報・広聴手法に関する実証実験を実施します。なお、この取組は富士通株式会社との連携協定に基づき実施します。



◀デジタルサイネージ画面イメージ  
こすぎコアパーク、市制100周年、  
環境問題に関する質問や情報を掲載  
※表示内容は変更になる可能性があります

### 1 実証実験の概要

日頃、地域との関わりが薄い住民の声を聴き、行政情報や地域情報を伝えることで、仕組みに触れた区民と地域との接点を作るため、街中にタッチパネル型のデジタルサイネージを設置します。利用者が地域や行政施策に関する選択式の質問に回答すると、質問に関連する行政情報が提供されます。回答結果は、後日区ホームページなどで公表します。

今後は、本実証実験の結果に基づき、新たな広報・広聴手法に関する検討を進めていきます。

### 2 デジタルサイネージ設置場所及び実施時期

- (1) こすぎコアパーク(中原区小杉町 3-1302) 3月11日(土)～3月17日(金) 予定
- (2) 武蔵小杉東急スクエア(中原区小杉町 3-472) 3月18日(土)～3月24日(金) 予定

#### 地域デザイン会議とは

本市では、参加と協働による地域課題の解決に向けて、「区民会議」を設置しておりましたが、「区民会議」の制度運用上の課題を踏まえ、より多くの市民が関わり参加しやすい機会を拡充するため、「区民会議」のリニューアルに向けた新しい参加の場、また、区民による対話の場として、試行的に開催するものです。

#### 富士通(株)との連携協定について

川崎市と富士通株式会社は、最先端のデジタル技術を活用して様々な社会課題を解決していくため、平成26年に両者で締結した包括協定をさらに強化することを、令和3年6月23日に発表しました。持続可能な未来都市の実現に向けて、区役所も連携して取り組んでいます。

【問合せ先】  
川崎市中原区役所まちづくり推進部企画課 田中  
電話 044(744)3151